

今年も梅雨の時期となりました。例年に比べれば雨は少ないような気がしますが、まとまった雨が降ると、その雨量に驚かされる時があります。



さて、この時期は毎年子ども達が野菜やお米を育て始める時期でもあります。今年も4-5歳児がトマトやキュウリの苗、それに稲などを植えてくれました。

自分たちの手で、1つ1つ直接植えましたので、その後育っていく姿にも関心を持っているようです。お当番さんが水をあげ、小さな実を見つけてはみんなに知らせてくれています。お迎えの際には保護者の皆様に自慢げに説明し、夏あるいは秋の収穫をみんなとっても楽しみにしています。

厚生労働省の『保育所保育指針』の中には、「食育の推進」の項目において、「子どもが生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ…(略)」という記載があります。また、『保育所における食育の指針』では、「食事づくり、準備にかかわる子ども」「食べものを話題にする子ども」など、実現を目指す5つの子ども像が挙げられています。「食育」という活動は調べれば調べるほど幅が広く奥も深い活動で、頭や文章で理解しようとするとな非常に難しいですが、まずは子ども達に「食」に対する関心を持ってもらうことがスタートで、それさえできれば目標の半分は達成できているのではないのでしょうか。ご家庭でもできる簡単な食育はたくさんありそうですので、この梅雨の時期に、皆さんも何か実践してみたいはいかがですか。

<トピックス>

徒歩遠足



4-5歳児の遠足で、西武柳沢駅の先にある「東伏見公園」まで歩いて行ってきました。少し長い距離になりますが、公園には高い丘を利用した長い滑り台や、電車が良く見えるスポットがあり、とても楽しく遊ぶことができました。お昼は楽しみにしていたお弁当！みんなで見せ合い、おいしくいただきました。



田植え

毎年、年長組のお友だちがお米作りに挑戦しています。今年もお世話になっているお米屋さんにご指導いただき、田植え作業を行いました。泥と水の感覚を楽しみながら、しっかりと稲の根を植え付けることができましたよ。おいしいお米が食べられるのが今からとても楽しみです。





子育てワンポイント!



皮膚トラブル（ドライスキン、水いぼ、あせもなど）のある子が多くなってきました。乳幼児の肌はとてもデリケート。特に汗をかく夏場は様々な皮膚のトラブルを悪化させやすいため、毎日のケアを大切に行っていきましょう。

★スキンケアのポイント★

スキンケアの基本は「洗浄」「保湿」「紫外線防御」です。



1. 皮膚を清潔に保つ（洗浄）

1日1回はお風呂に必ず入り、汗をかいたときはシャワーで汗を流しましょう。シャワーを浴びることができない時は濡らしたタオルで拭くのも良いと思います。着替えも新しいものに変え、暑い時は薄着で過ごすようにしましょう。

2. 乾燥を防ぐ（保湿）

皮膚の乾燥が気になるときは、夏場でも保湿の習慣を、洗顔、入浴、シャワーの後、肌が湿っているうちに、保湿剤を薄く伸ばすように塗りましょう。

注) あせもやとびひがあるときはワセリンやベビーパウダーの使用は控えましょう。



3. 紫外線防御ケア

紫外線もスキントラブルのもととなります。外出時は帽子をかぶったり、1歳以上なら子ども用の日焼け止めを塗ったりするなど、紫外線防御をしましょう。

★水いぼについて★

伝染性軟属腫ウイルスが原因でできる栗粒大のいぼで、おなかやひじ、わきの下などにでき、何かの拍子に掻き壊してしまうと、いぼの中のウイルスが指先に付き、その指で触れた部分に新しい水いぼができて広がっていきます。そのままでも半年から1年半ほどで治りますが、アトピー性皮膚炎の子や、かゆくて掻き壊してしまうような場合は皮膚科受診をお勧めします。



【子育て支援活動】 ～園庭開放を実施しています～

田無北原保育園では、平日の10時～12時まで、ご近所のお友達に園庭開放を実施しています。園庭の遊具はもちろん、砂場で遊ぶシャベルやバケツや、三輪車、ストライダー（ペダルなし自転車）なども自由にお使いいただけます（夏季はプール開放も実施）。園内の見学や育児相談等も行っていますので、お気軽に遊びに来てください。



西武新宿線「田無駅」または西武池袋線「ひばりヶ丘駅」からバス「北原二丁目」停留所より徒歩1分（駐車場はありません）

お問い合わせ Tel : 042-467-8080

URL : <http://kitahara-ns.org/>

田無北原保育園 検索 西東京市北原町 2-1-14

==== 社会福祉法人大誠会 ====
田無北原保育園（私立認可園）
田無保育園（公立園運営受託）